

2018年度第4回（通算第35回）理事会（通常）議事録

1. 日時：2018年9月3日（月） 18時～19時50分

2. 場所：札幌コンベンションセンター107 会議室
〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

3. 参加者：

理事18名中16名

（代表理事）浅田正彦 （理事）石田淳、植木俊哉、小畑郁、兼原敦子、酒井啓亘、都留康子、道垣内正人、中谷和弘、西谷祐子、西村弓、濱本幸也、古谷修一、真山全、森川幸一、山田哲也

（監事）吾郷眞一、佐野寛

（事務局）新井京、加藤陽、前田直子

4. 議事内容

1) 報告事項

1 新理事の交代に伴う登記について

真山事務局長より登記が無事終了したことが報告された。

2 2018（平成30）年度予算執行状況に関する件

古谷前会計部長より、2017年度正味財産増減計算書および2018年度収支補正予算の内容が説明された。四学会国際会議にかかる補助金の運用に関して、兼原前国際交流委員長より補足説明があった。

3 アジアカップ模擬裁判に関する件

植木前若手研究者育成委員会委員長より、2018年度アジアカップ模擬裁判大会の実施について説明された。浅田代表理事より大会につき補足説明があり、また外務省との補助金に関わる委託契約締結について説明された。

4 小田滋賞懸賞論文募集関連作業に関する件

西谷国際関係法教育委員会委員長より、第6回応募要領、ポスター等の内容説明があった。要領中の「未発表の論文」の意味に関して、議論の結果、「未発表とは大学内向けに発表されたものを含まない」と解することが了解された。

5 名誉会員の推薦に関する件

真山事務局長より、名誉会員推薦基準および待遇に関する内規に基づき、該当者がいないことが報告された。

6 研究大会への傍聴に関する件

真山事務局長より、2018年度研究大会の傍聴希望者の状況（27名（1日目現在））について報告がなされた。

7 出版社の出展に関する件

真山事務局長より、2018年度研究大会に際し、6業者より出展の要望があり、許可したことが報告された。

8 学会事務委託先選定等ワーキンググループに関する件

浅田代表理事より、学協会サポートの解散に伴う代替業者選定のため設置されるWGのメンバーとして、座長として酒井啓亘理事、委員として新井京事務局幹事、西村弓理事（前事務局幹事）、岩月直樹前事務局委員を任命すること、および薬師寺評議員会会長、真山事務局長、濱本会計部長、浅田代表理事がワーキンググループ会合に参加することが報告された。

9 その他

浅田前研究企画委員会委員長より、非会員の報告者・コメンテーターが当該者参加のセッション以外の日のセッションを傍聴する場合の傍聴料の徴収について、公募パネルの報告者・コメンテーターたる非会員からのみ傍聴料を徴収するとの方針が報告された。

酒井エキスパートコメント委員会委員長より、学会ウェブページ上の「エキスパートコメントについて」の改正を検討していることが報告された。

2) 議決事項

第1号議案 一般財団法人国際法学会年次研究大会（第121年次）に関する件
森川前研究大会運営委員会委員長より事前登録の状況が報告された。

【議決事項】なし

第2号議案 一般財団法人国際法学会年次研究大会（第122年次）に関する件

兼原研究企画委員会委員長より、来年度研究大会の運営方針として、公募分科会パネル方式を1つ減らして、研究大会の開始時間を10時開始とすることが提案された。

兼原委員長より、大韓国際法学会との間で合意している研究大会への各学会会員の相互参加を促すため、2019年度研究大会において、大韓国際法学会会員3名を招聘することが提案された。

兼原委員長より、「条約を通じた秩序形成と課題：条約法条約50周年を記念して（仮）」を共通テーマに設定することが提案された。

審議の結果、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（15名）の賛成により以下の通り議決された

【議決事項】 2019年度（第121年次）研究大会において、

- (1) 公募分科会パネル方式を1つ減らして、研究大会の開始時間を10時開始とする。
- (2) 大韓国際法学会会員3名を招聘する。
- (3) 「条約を通じた秩序形成と課題：条約法条約50周年を記念して（仮）」を共通テーマに設定する。

第3号議案 委員会及び部の構成に関する件

浅田代表理事より、資料にもとづき各委員会の構成について提案され、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（15名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】 委員会及び部の構成は、別表の通りとする。

第4号議案 国際法外交雑誌第117巻・第118巻の編集状況に関する件

植木雑誌編集委員会委員長より、117巻の編集状況、118巻の編集方針について説明がなされ、了承された。

【議決事項】なし

第5号議案 新入会員の承認に関する件

真山事務局長より、以下の11名（一般会員5名、院生会員6名）の入会を認めることが提案され、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事（14名）の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】 会員の異動（新入退会等）

新入会員=11名(正会員=5名 院生会員=6名)

退会希望者=(略)

現在の会員

895名(一般会員774名、名誉42名、院生73名、特別3名、終身2名、維持会員1件)

新入会員入会及び退会希望者削除後

904名(一般会員779名、名誉42名、院生77名、特別3名、終身2名、維持会員1件)

(会員種別 院生より一般会員へ 2名有)

第6号議案 その他

(1) 維持会員の扱いに関する件

真山事務局長より、維持会員たる組織の構成員による研究大会参加について、5名まで認められるとされているところ、当該5名から登録料を徴収していることが定款第12条第2項に基づき説明され、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事(14名)の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】 維持会員たる組織の構成員による研究大会参加においては、正規の登録料を徴収する。

(2) 理事会におけるスカイプ利用に関する件

浅田代表理事より、技術的な問題および開催校の負担の関係で、原則として利用しない方針が説明され、議決に加わることのできない議長を除く、すべての理事(14名)の賛成により以下の通り議決された。

【議決事項】 理事会会合においては、原則として、スカイプを利用しない。

別表(第3号議案)

国際法学会 役員・委員名簿(2018年~20年)

(○印は幹事。あいうえお順)

代表理事 浅田正彦

1 総務部(部長・真山全)

事務局

事務局長 真山全

事務局員 ○新井京、加藤陽、○前田直子

ホームページ委員会

委員長 都留康子

委員 加々美康彦、坂田雅夫、瀬田 真、○松井章浩

会員委員会

委員長 森川幸一

委員 岡松暁子、小川裕子、北坂尚洋、○濱田太郎

2 会計部(部長・濱本正太郎)

会計部長 濱本正太郎

委員 ○山下朋子

3 研究企画部(部長・兼原敦子)

研究企画委員会

委員長 兼原敦子

委員 国際法 岩月直樹、北村朋史、竹内真理、○玉田大、西村智朗、萬歳寛之、○森肇志

国際私法 竹下啓介、長田真里、○森下哲朗

国際政治・外交史 ○長有紀枝、廣瀬陽子

外務省 濱本幸也（国際法課長）

研究大会運営委員会

委員長 山田哲也

委員 掛江朋子、○黒崎将広、小寺智史、田中佐代子、新倉圭一郎

4 研究振興部（部長・小畑郁）

研究振興委員会

委員長 西村弓

委員 国際法 石川知子、伊藤一頼、○藤澤巖、皆川誠、南諭子

国際私法 中西康

国際政治・外交史 二村まどか

若手研究者育成委員会

委員長 小畑郁

委員 国際法 坂巻静佳、坂本一也、二杉健斗、根岸陽太、樋口恵佳、松田浩道、
○水島朋則

国際私法 出口耕自

国際政治・外交史 山田高敬

5 雑誌編集部（部長・植木俊哉）

雑誌編集委員会

委員長 植木俊哉

委員 国際法 黒神直純、○佐俣紀仁、竹村仁美、遠井朗子、○西本健太郎、望月康恵、
山田卓平、山本良、和仁健太郎

国際私法 ○北澤安紀、高杉直、多田望、横溝大

国際政治・外交史 ○大島美穂、大矢根聡、篠原初枝

外務省 深堀亮（条約課長）

6 国際交流部（部長・古谷修一）

国際交流委員会

委員長 古谷修一

委員 国際法 川岸 伸、○洪恵子、小島千枝、福永有夏、堀口健夫

国際私法 申美穂、種村佑介

国際政治・外交史 澤田眞治、篠田英朗

7 社会連携部（部長・中谷和弘）

アウトリーチ委員会

委員長 中谷和弘

委員 国際法 権南希、柴田明穂、○立松美也子、鶴田順

国際私法 織田有基子

エキスパートコメント委員会

委員長 酒井啓亘

委員 国際法 阿部克則、石井由梨佳、齋藤民徒、○寺谷広司、内記香子、深町朋子

国際私法 林貴美、村上愛

外務省 北川剛史（国際法課首席事務官）

国際関係法教育委員会

委員長 西谷祐子

委員 国際法 阿部浩己、阿部達也、○李禎之

国際私法 神前禎

国際政治・外交史 杉木明子、三浦聡